

グローバル展開プログラム(研究テーマ公募型研究テーマ)

◆課題:「情報化やAIなどの技術革新および環境問題などに直面する新たな人文学・社会科学の展開」

◆研究テーマ:「技術革新および環境化学物質は不妊を増加させたか」

研究期間:R1.10~R4.3
委託費総額:25,880千円

<研究代表者>

小西祥子:東京大学大学院医学系研究科/准教授



<専門分野>

人類生態学、生物人口学、環境保健学

<Webページ>

<http://shoko-konishi.info/>

<研究目的・概要>

・日本では多くの不妊治療が行われている



技術革新および環境化学物質が不妊に及ぼす影響の解明を目指す。

・技術革新が性規範および性行動に及ぼす影響を定性的に調査する

・環境化学物質への曝露が生殖機能および性行動に及ぼす影響を定量的に調査する



日本における不妊に関連する文化・社会・環境要因の解明に貢献する。

<研究計画の特徴>

技術革新および環境化学物質が人間の生殖にどのような影響を及ぼすのかという、人の存続に直接かかわる問いに、人文学、社会科学、環境科学を合わせて挑戦する点が先導的である。得られた知見を課題解決につなげるため、シミュレーションモデルを用いる等の工夫をする。

<目標とする研究成果>

(1) 技術革新と性行動の現状を解明する

技術革新によって、人々の性規範や性行動がどのように変化するのか定性的に解明する

(2) 環境化学物質と不妊に関する知見を示す

環境化学物質への曝露によって、性欲や性行動がどのような影響をどの程度受けるのかについて定量的に解明する

<将来展望>

不妊を減らすために、医学以外の分野でも実施できる方策を考える。